

東京聖栄大学の夏期節電対策について

東京聖栄大学では、東日本大震災による電力供給不足に対応し、今夏の節電対策について下記の通り取り行なうことが決定しましたのでお知らせします。

<7月～9月の夏期の消費電力削減を図る。目標は▲15%>

【教育研究活動時期・時間帯の変更等】

土曜日授業の集約 * 土曜日開講の正課授業(食品製造機械)を集約し、7月は4回→2回とすることにより、7月土曜日2回を正課授業の無い日とし、電力使用を削減する。なお、土曜日に実施予定の学内模試、国試対策ガイダンス等を行います。

夏期勤務時間の短縮 * 例年より拡大実施し電力使用を削減する。 * ノー残業デーの設定。

個人研究においては、ピーク時間(13時～16時)を外した実験の実施を心がける。

【施設設備の一部使用停止】

実習室内冷凍庫・冷蔵庫の集約 * 収納品の整理と集約を行ない、一部の使用を停止することにより、電力使用を削減する。

可能な限り、研究室内電気製品の使用を停止する。

可能な限り、事務室内電気製品の使用を停止する。

昼休みはパソコンの電源を停止する。(ディスプレイ照度も下げる)

1号館屋上のライトアップは休止する。

危険箇所を除き、器具単位で蛍光灯・電球を減らす。

【空調温度の引き上げ等】

空調の設定温度を引き上げる。(設定は28度)

冷房効果を上げるため、ブラインドやカーテンは必ず使用する。

我慢できる日は冷房を我慢する。

【学生への協力要請と、学生と共に取り組む】

学友会や学生にも協力を要請し、学生と共に夏期節電対策に取り組む。

【その他】

不要な点灯をこまめにチェックし消灯する。

(各館・各階の火元責任者の方に、1日2回程度のチェックを要請する。責任者が休暇等の際は、代わって代理の人が行なう。)

* 節電とは、「心地よさ・便利さを、みんなで少しずつ我慢し、知恵を出して工夫すること」かも。
被災地の苦労を思い、みんなで節電に取り組みましょう!!

<学生の皆さんへ>

学生の皆さんも、以下のような節電対策の実施にご協力をお願いします。

- 使用していない教室・自習室等の照明を自主的に消灯する。
- 夏期休暇中における学内正課外活動（部・同好会活動等）での教室・講堂・体育館・厚生施設棟等の利用を効率的に行うことを目的に、使用許可時間の一部制限を実施します。

学生の皆さんは節電対策の実施とともに、熱中症の予防及び対策についてもご注意ください。

- 保健室等の一部施設については、空調設定温度を適宜変更し対応します。